



充実した 学校生活のために

教育後援会会長
伊本 淳平



保護者の皆様におかれましては、いつも教育後援会の活動にご理解と多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

詳細は5月の総会にてご報告致しますが、平成28年度に於きましては、皆様より頂いた助成金、バザーの売り上げ共に過去に類を見ない額を達成できました。これもひとえに皆様(教育後援会役員も含む)のご協力のおかげであり、重ねて御礼申し上げます。

ここで教育後援会の設立目的を改めて申しますと「生徒への支援」に他ならず、もっと直接的に言えば皆様から寄付金(助成金、入学時に3年分一括で納入)を募り、一旦国庫に納付した後に全額を学校の運営予算として引き当てて頂くという仕組みを実行する「経済面の支援」であります。

本校の運営はすべて国からの交付金で賄われることになっていますが、生徒の皆さんがより良い高校生活を過ごすために必要な環境を整えるためには交付額だけでは十分とは言えず、不足分を助成金という形で保護者の方々のご厚意により補填して頂かざるを得ません。

こうして集められた助成金、また文化祭でのバザーの売り上げは、SSH、SGH活動、課題研究といった生徒が高度な専門教育を受ける為に必要な出費であったり、一方でプールのひび割れ補修や校外学習の引率教員への補填、更には

体育館への製氷機の設置など、生徒が安心して安全な学校生活を送る為に必要な支出としても幅広く有益に使われております。

私自身、本校機械科(当時)の卒業生ですが、当時「日本の工業高校」(祖母談)と称されてから数十年、今ではIT等、科学技術の進歩に追従する形で学校のカリキュラムも劇的に高度化して(まさか自分の子供がAuto CADや3Dプリンタなどを使いこなすとは思ってもみませんでした)おり、「世界でも有数の科学技術高校」へと進化した姿を目の当たりにして誇らしく思いました。また同時に、溶接、旋盤などの日本の技術を縁の下から支える昔ながらの基礎技能の履修も継続して行われている事に、世界に誇る日本の技術をリードする一流の技術者を育てる環境で子供を学ばせる事が出来、本当に良かったと思えました。

皆様からのご支援があつての教育後援会の活動ですが、生徒の皆さんを将来の日本を背負って立つ技術者、研究者、経営者に育成する為の一助となるよう、これからも日々精進していきたいと思っております。

教育後援会では庭園見学会やお料理教室などの、保護者同士の親睦の場も設けており、役員の方自身も楽しみながら企画しておりますので、機会がありましたらふっつてご参加頂きたいと思っております。(子供からだけでは得られない情報も保護者間で共有出来ます！)

今後とも教育後援会へのご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。



夢の力



2011年 機械システム分野卒
松下 元斗

皆さん初めまして、2011年機械科卒の松下元斗と申します。現在は24才の大学生で、2017年の春から社会人になります。高校に入学したのは2008年、記録的な大雨で嵐の中高校の入学式を迎え、卒業式は東日本大震災の前日、成人式は未曾有の大雪と何かとついてない“悲劇の92年組”と呼ばれる代の一人です。私が高校1年生のとき、スマホはまだまだ珍しいもので、前オバマ大統領の就任が決まったのもこの年でした。という、もう10年近く前かあ。いや、時が流れるのはあっという間です。

さて、突然ですが、神様になんでもあなたの夢を叶えてあげますといわれたらなんて言いますか？ ハッキリ言えなくてもなんとなく思い描くシーンはありますか？

そのシーン、光景はあなたの将来のビジョンです。そしてそのビジョンに向かって日々努力すればそれはかなり近いカタチで実現させることができるんじゃないかと最近思うようになったので、今回はそんなお話をしたいと思います。

●～高校～

私は物心ついたときからクルマが大好きだったので、クルマに関わる仕事につきたいと考えていました。しかし、具体的にクルマの何がやりたいのかわからず、とりあえず他の人より少しでもその世界に近付こうという気持ちで本校の機械科に進みました。実際に専門の授業は面白く、最終的には課題研究で電気自動車をつくることもでき、とても充実していました。しかし、中学3年の頃「関心意欲態度 A、数学的思考 C」と数学の先生から見込みをもらっていた通り、高校では天性の数学苦手を余す所なく発揮し、理系科目の成績は軒並み低迷、期末試験は進級をかけた超低空飛行で毎回ヒヤヒヤものでした。今にして思えば、何がわからないのかわからない状況を教科書の丸暗記で誤魔化そうとしていたのが諸悪の根源で、やはり本質を理解しようとしないとダメですね、なんて今さらながら思います。逆に英語は授業が面白かったこともあり、人並みにはできるぞという妙な自信を与えてくれました。中学の友人や予備校の人たちからは、文系に進むことを進めてくれましたが、数学を除けばできる、できないというよりも理系が面白いと思っていたので、ひたすらに理系に進みました。当然大学受験には失敗しましたが、そういう気持ちだったので理系への進学は諦めず、卒業後は浪人の道に進みました。

それから一年間予備校で朝から晩まで勉強しましたが、ほとんど成績は上がらず、現実的に合格できそうな学校を選ばない



といけない状況になりました。そんなある日、東京電機大学のFormula SAEチームを紹介した記事が掲載されていたのが目に止まりました。Formula SAEとは優秀なエンジニアを育成するための教育プログラムとして、1981年にアメリカで始まり、ヨーロッパ各国、オーストラリア、ブラジル、ロシアなど世界各国で開催され、世界中の大学生が共通のルールに基づいて競い合います。内容はレーシングカーを学生がゼロからつくりあげ、走ってタイムを競うだけでなく、小型のレーシングカーでビジネスをする企業を学生のチームが運営することを想定して販売戦略や製造コスト、設計を評価する種目もあり、ドライビングスキルから経営まで総合的な能力が問われます。日本では学生フォーミュラという名称で知られ、多くの大学チームが参戦しています。存在は高校の頃から知っていて、ぜひやりたいと思っていましたが、東京電機大学のチームは「日本で唯一海外大会に毎年参戦」「毎日大学に泊まり込みで活動」「少数精鋭」と書いてあって、「おお、なんだか熱そうぞ」と興味をひかれ、センター試験の文系科目も入試に使えることから受験し、合格しました。結局それが唯一の合格通知となったのでめでたく東京電機大学の門を叩くことになったのです。

●～大学～

その活動に入ってからは、自分が想像していた大学生活と全く違う生活が始まりました。アイディアスケッチを書いて、教科書読みながら電卓を弾いて強度計算をして、図面を書いてという設計から、旋盤、溶接、カーボン製品製作といった作業、それだけでなく、テスト走行に行ったり、時にはビジネススーツに着替えて企業にプレゼンをしに行ったりと目まぐるしく様々なことに取り組みました。新しい経験に出会う毎日が刺激的で、充実していたので、友人と遊びに行ったりもせず、毎日大学の作業場に寝袋を敷いて寝ていました。なかでも海外大会はとても刺激的です。毎年オーストラリア大会に参加したのですが、何もかもが大変です。なんせ、買物から大会で販売戦略のプレゼンテーション、車検まで全て英語です。トラブルで部品が壊れたときにはもう大変、現地の航空機用の鋼材屋さんに電話し

て、材料を買いに行き、近くの大学の旋盤を借りて徹夜で部品をつくったこともありました。そんなときに「いや、英語に自信がなくて…」なんていっている場合ではないので、それはもう必死になってあの手この手を使って意思疎通をはかりました。でも、失敗を恐れずに話しかければ大抵のことはなんとかかなり、それどころか多くの友人をつくることもできました。遠征は大変ですが、こんな経験をしているのは自分たちだけだと思うと「なんでもできるぞ」という妙な自信を得られるのも非常に大きかったです。

●～就活～

そんなこんなであっという間に就活の時期を迎えました。まわりは随分前から企業研究だのSPIだの騒いでいましたが、「そんなことよりFormula SAEだ！」と無視しており、そのまま3月の就活解禁を迎えました。とはいってもどの会社でどんなことをしたいのかというイメージが漠然としていて全くピンとあっていなかったのです。確かにクルマ漬けの毎日を送って来ましたが、当然楽しいことだけではなく、時には体力的にも精神的にもあまりに大変で「なんでこんなに大変な目にあっているのだろう、もっと楽な生き方もあるのに」なんて思うこともありました。でも、Formula SAEの活動はやらないと卒業出来ないわけでもなく、生活のためにやらなきゃいけないわけでもなく、ただ、好きだからやっているだけで、誰に強制されているわけでもないのです。まさに「嫌ならやめちやいな」というなかで、なぜ年末年始以外休まず、遊ばずの生活を毎日やり続けたのか。それもわからないのに、クルマをやりたいと就活で胸を張って言うのかという気になり、なぜ自分がクルマ好きになったのかという記憶を辿ってみました。そうすると、小さい頃に見たラリーのビデオがきっかけだったということに気づきました。ただ砂埃を上げながら疾走するクルマがカッコイイと思い、心惹かれたのが最初でした。その想いがよりチャレンジングな本校への進学を決心させ、理系で続けるのは無理なんじゃない？という周囲の声に惑わされること無く、一年浪人してまで機械系の大学に入り、Formula SAEの活動まで自分を動かしたのです。そうしてやっていたFormula SAEの活動でも失敗だらけでしたが、振り返ってみると、昔はラリーをイメージしながら公園の中を自転車で走るのがせいぜいだったのに振り返ってみると、自分でレーシングカーを設計してつくり、オーストラリアで海外のチームを相手にメカニックやドライバーとして戦っている。そう思えばなんだか、かなり夢に近づいてるじゃん！と自信が湧いてきたのです。

そこからは特に苦労すること無く話が進みました。この想いを書類に書いて送り、面接ではFormula SAEの活動で描いた図面やつくった部品、活動の様子を写した写真を見せながらこれからやりたいことと、やってきたことを包み隠さず、自信をもって伝えました。Formula SAEの活動で企業の人と話しをすることも慣れていたので、特別緊張することはなく、むしろプロ

で経験豊富なベテランの人に自分のやってきたことをタダで評価してもらえるすごくいい機会だと思い、部品の形状についてアドバイスをもらったり、企業の考え方について教えてもらったり、とても勉強になりました。その結果、昔、自分が憧れたラリーカーをつくっていた第一志望の会社から内定を頂くことができました。

●～高校生へ～

誰もが一つくらい小さい頃に憧れ、情熱を注げるものがあつたと思います。年を重ねるごとにでも多くは「他の人は…」とか「普通は…」とか周囲の人を気にして、「どうせ自分には…」と諦めてしまう人が多いような気がします。「好きだから、夢だからやる。」という自分の純粋な想いを動機にして、それを信じ、貫くことは意外と大変です。でも勇気をもって、その想いをまわりに発信していると、たくさんの方が手助けをしてくれて、思いもよらないチャンスが舞い込んできたりするものです。そうして得られた経験はきっとだれにも負けない最強の武器になるはず。だから、大学生になる前、今のうちに自分が情熱を注げる本当にやりたいことを見つけて、それを人に話せるようになってください。きっともうあるよというひとはそれをどうやったら達成できるか、少しでも近づくために今からでもできることはないのか、探してみてください。早く動く分に越したことはないのですし、高校生のうちからその武器を知って、動いていけばきっとすごいことが成し遂げられると思います。

●～結び～

知ったようなことを長々と書いてしまいましたが、私もこれから社会に出るひよっこで、まだまだスタートラインに立つばかりです。でも、高校時代も含め色んな人にたくさんのチャンスをもらってきました。その恩を少しでも社会に広げられるよう、夢だったレーシングカーをつくって、世界のレースで勝って日本を盛り上げられるよう頑張ります。



第13回シェフ大塚お料理教室

2017年1月28日(土) 10:30~14:00
本校1号館3階 家庭科実習室にて

~脳細胞の構成要素はタンパク質~

脳はブドウ糖をエネルギーにして働いています。それでは脳は何かからできているかというと、脳細胞はタンパク質を主な材料にしています。タンパク質は体の構成要素として重要ですが、脳の発育にも欠かすことができません。

6歳までに脳細胞は発達すると言われていたから、そのときまでの栄養がとても大切になります。生後6歳頃までにタンパク質の欠乏した食べ物摂り続けると、脳の発達に重大な影響を及ぼすと考えられています。ほとんどの人が食べることに困らなくなった現在、「タンパク質の欠乏による脳の発育阻害」は考えられません。

しかし、偏った食生活をしている人が多いので、現代でもあり得ることです。いったん発育が阻害された脳の修復は難しいと言われています。小さいときから食事のバランスに気をつけて、好き嫌いのないように育てましょう。たくさん摂ればいいのかというと、何でも摂り過ぎは良くありません。

脳細胞の構成要素であるタンパク質は20種類のアミノ酸から構成されています。人間の体の中で作ることでできないものを必須アミノ酸といい、食べ物から摂らなければなりません。必須アミノ酸の中でもトリプトファンとフェニルアラニン、チロシンは脳の神経伝達物質に関連しています。やる気を起こし、記憶力を高めるので、受験生には特に重要なアミノ酸です。

アミノ酸バランスに優れた食品は、体の構成要素でもあり、身体機能を高めます。免疫機能も高まり、体調も良くなり、結果的に意欲が出てきます。食品を選んで食べることはとても重要なことです。偏らないで食べるのが大事です。必須アミノ酸をバランスよく含むものは、肉類や魚類、卵、牛乳などの動物性タンパク質です。穀類、大豆、豆類にもタンパク質は含まれますが、必須アミノ酸のバランスはやや劣ります。しかし脂肪が少ないというプラス面もあります。主菜になる食材はアミノ酸バランスに優れています。ただし、アミノ酸バランスに優れているからといって食べすぎは禁物です。

脳を活性化させ記憶力を高める「卵」

必須アミノ酸のバランスに優れた卵は、物価面でも優等生です。手軽で朝食のメイン料理になくてもならない存在。ご飯、パンどちらにも使える便利な食材です。家庭の常備食材のナンバー1ではないでしょうか。1日1個を目安に。朝食のメニューに変化をつけてみましょう。

卵にはレシチン、別名「フォスファチジルコリン」という脂質を含み、脳内の記憶力を高めると考えられています。フォスファチジルコリンは脳の三大栄養素とも言われています。後の2つは脳のエネルギーになる糖質と、青魚に含まれ血液さらさらでも有名になったDHAです。フォスファチジルコリンはビタミンB12と一緒に摂ると良いと言われています。卵黄にはビタミンB12も含まれています。



卵の話

卵は物価の面、栄養面で優等生です。タンパク質、ビタミン、ミネラル類に富み、栄養を完全にしてくれる食品です。卵白と卵黄では栄養成分が異なり、卵黄のコレステロールを嫌う人もいますが、1日1個ぐらいいは食べても問題はありません。最近では卵にも賞味期限の表示があるので、それを目安に選ぶと良いでしょう。先のとがった方を下にして、ケースに立てて保存します。卵の丸い方には「気室」という部屋があり、ここを通して呼吸しているの、部屋を塞がないようにすることが大切です。



ゆで卵には固茹でや半熟など好みがありますが、半熟卵を作る場合は、水から入れて火にかけ、沸騰したら火を止めて、10~15分そのままにしておくことでできあがります。ガス代の節約にもなるので、ぜひお試しください!!



<長いもとしめじのスープ>

- 【材料】6~8人分レシピ(1卓)
- 長いも……………200g
 - しめじ……………1パック
 - おろし生姜……………適宜
 - 万能ねぎ……………小口切り適宜
 - (1人分44kcal 塩分2.1g)
 - 鶏ガラスープの素……………小さじ2
 - 料理酒……………大さじ2
 - 食塩……………小さじ1
 - 水……………900cc

【作り方】

- ①しめじは石づきを切ってほぐす。長いもは皮をむいて厚手のポリ袋に入れ、麺棒などでたたいて、小さめの一口大に割る。
- ②鍋に水900ccと鶏ガラスープの素を入れて、強火にかける。煮立ったら中火にし、長いも、しめじ、酒、塩を加えて2分ほど煮る。
- ③器に盛ってから、おろし生姜と万能ねぎをのせる。



<トマトとひき肉の片面焼きオムレツ>

卵料理

- 【材料】6~8人分レシピ
- 卵……………6個
 - トマト……………中サイズ300g
 - 玉ねぎ……………250g
 - 合挽肉……………250g
 - 塩……………適量
 - 白こしょう……………適量
 - サラダ油……………大さじ2

ポイント

卵が固まり始めた部分とまだ生の部分を混ぜ、火の通りを均一にしながらふたをして蒸し焼きにする。



【作り方】

- ①卵は溶きほぐし、塩、こしょう各少量を混ぜる。トマトはヘタを取り、種をざっと除いて、1.5cm角に切る。玉ねぎは3~4mmの薄切りにする。
- ②直径25cm程度のフライパンにサラダ油大1を熱し、弱火~中火で玉ねぎを炒める。しんなりしたらひき肉を加え、中火でポロポロになるまで炒めて、塩、こしょう各少量で調味する。
- ③①の溶き卵に②とトマトを混ぜる。
- ④②のフライパンをきれいに拭き、サラダ油大1を中火で熱し、③を入れて大きく5~6回混ぜる。ふたをして弱火で2~3分焼き、表面がほぼ固まったらできあがりです。

<白菜と厚揚げのオイスターソース煮>

- 【材料】6~8人分レシピ
- 白菜の葉……………600g
 - 厚揚げ……………4枚
 - 生しいたけ……………9枚
 - 生姜の薄切り……………10g
 - (1人分217kcal 塩分1.5g)

煮汁

- 料理酒……………大さじ4
- オイスターソース……………大さじ2
- 醤油……………大さじ2
- 片栗粉……………小さじ4
- 鶏ガラスープの素……………小さじ2
- 水……………200cc
- サラダ油……………大さじ2

【作り方】

- ①白菜は一口大に切る。しいたけは石づきを切り、薄切りにする。厚揚げは縦半分に切り、横に幅1cmに切る。煮汁の材料を混ぜる。
- ②フライパンにサラダ油を中火で熱し、生姜、厚揚げ、しいたけ、白菜を順に加えて、白菜がしんなりとするまで炒める。煮汁をもう一度混ぜてから加え、混ぜながら炒め煮して、とろみがついたら火を止める。

<インゲンとエノキの肉巻き>

- 【材料】6~8人分レシピ
- 豚ロース(又はバラ)……………スライス16枚
 - インゲン……………16本
 - エノキダケ……………3袋
 - 小麦粉……………適量
 - サラダ油……………大さじ2

A

- 料理酒……………120g
- 醤油……………120g
- 砂糖……………大さじ4
- 水……………240g

【作り方】

- ①インゲンはヘタを除く。エノキダケは根元を除き、ほぐす。
- ②豚肉を1枚ずつ広げ、①の野菜を等分にしてのせ、斜めに巻いていく。茶こしで全体に小麦粉を薄くまぶす。
- ③フライパンにサラダ油を中火で熱し、②を入れて全体をこんがり焼く。火を止め、ペーパータオルで汚れをふき、再び火にかけてふたをする。
- ④弱火で3分ほど蒸し焼きにし、インゲンに火が通ったらふたを取り、中火で全体にタレをからめる。



<カルボナーラ風パスタサラダ>

カルボナーラがサラダに大変身!! クリーミーだけどさっぱり食べられます。新感覚のパスタサラダです。

- 【材料】6~8人分レシピ
- スパゲッティ……………240g
 - (カップリーニ)
 - ブロッコリー……………160g
 - キャベツ……………4枚
 - 塩・黒こしょう……………各少々
 - オリーブオイル……………小さじ2
 - ハム……………8枚

A

- 卵黄……………4個分
- パルメザンチーズ……………大さじ4
- オリーブオイル……………大さじ4
- レモン果汁……………大さじ2
- 塩・黒こしょう……………各少々
- ◎ ボイル用塩適量

【作り方】

- ①ブロッコリーは小房に分け、キャベツはざく切りにしておく。塩を入れた湯で半分折ったスパゲッティをゆでる。ゆで上がり1分前にブロッコリーとキャベツを入れる。ゆであがったら、オリーブ油と塩、黒こしょうを混ぜ合わせて冷ます。
- ②ハムは短冊切りにし、Aと混ぜ合わせたら、①を加えて和え、器に盛ります。

<白玉ピーナッツソース>

【材料】6~8人分レシピ

- A 白玉粉……………450g
- 水……………405cc
- B ピーナッツバター……………大さじ9 (クリームタイプ)
- 牛乳……………180g
- 砂糖……………大さじ3

【作り方】

- ①Aの白玉粉の様子を見ながら水を加えて練り、耳たぶくらいの硬さにする。
- ②Bを耐熱容器に入れ、ラップフィルムをかぶせて、電子レンジ(500W)に30秒ほどかけ、なめらかに溶き混ぜておく。
- ③①を一口大のだんごにまとめ、熱湯でゆでる。浮き上がってきたら、1分ほどゆで、手早く氷水に入れる。水気を切って器に盛り、②のソースをトロリとかける。 ※熱くして食べるときは、ゆでた白玉だんごを軽く水にくぐらせる。ソースが固くなったときは再び電子レンジにかけると、牛乳を少々足してのばす。



アンケート

- デザートまであり、とても満足できる内容なので来年が今から楽しみです。大塚シェフの明るくてやさしいお人柄も大好きです。もっとみんなにも来て欲しいです。
- とても楽しく、本当においしかったです。参加は2回目ですが、いつも手に入る食材で自分では作ったことのないお料理なので参考になります。グループの人たちや先生とワイワイ調理するのも楽しいです。
- 本日はありがとうございました。色々なお話を聞き、同じ学年でも他のクラスのお母様方と交流ができる機会がなかなかなかったので良かったです。お料理もとてもおいしかったです。お腹がいっぱいです。
- ボリュームがあって息子にも十分な量だと思います。味のバリエーションもあり、ぜひ家でも作りたと思います。

この他にも多数の貴重なご意見とご感想を頂戴しました。今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

原美術館見学会報告

副会長 門馬 進



教育後援会の事業に庭園見学会があり、毎年開催され9回目となります。今年は、11月12日(土)に原美術館で行われましたので、ご報告をいたします。また美術館では写真家・篠山紀信の特別展が、同時開催されていましたので合わせてご報告します。

当日は、よく晴れ渡る絶好の日和となり、気持ちのよい見学会を催すことが出

来しました。場所は、JR品川駅から歩いて 15分程度。御殿山の坂を上り、旧三菱倶楽部の「開東閣」前から閑静な住宅街に 200メートルほど入った所です。住宅街に入った瞬間から雰囲気は一変し、建ち並ぶ高級住宅に羨望の気持ち



をもちます。その終点のように元大実業家の私邸を改造した原美術館に到着です。晩秋の午後、篠山紀信の仕掛ける妖しくエロチックな写真展「快樂の館」が我々を待ち受けていました。

午後2時に美術館入口前庭に集合しました。参加者は、伊本会長をはじめ小池顧問、仲道副校長先生、連絡係の今田先生、後援会の役員さん、保護者の皆様など合わせて約30名ほどとなりました。今回の見学会は、同時開催された展覧会が少々大人向けであったため、参加募集の案内に同趣旨を記載していましたが、参加者は例年より若干少なめでした。美術館前で会長の主催挨拶で見学を開始しましたが、これまでの庭園見学ほど空間が広くないので、午後3時に同場所に集合して解散する予定としました。

原美術館は現代アート専門の展示施設として、1979年



に開館しました。建物は原邦造(東京ガス会長、日本航空会長、帝都高速度交通営団(営団地下鉄) 総裁などを歴任した実業家)の私邸として1938年に建設されました。

設計者は渡辺仁(わたなべ じん)。上野の東京国立博物館本館、銀座の和光本館(旧服部時計店)、今はなき旧日劇等を設計した建築家の代表的作品。当時の建築家の目は、欧米に向けられていました。19世紀末から20世紀初頭の欧米建築界は古典的建築様式から近代的建築様式への転換期にあり、渡辺の作品も様式の混乱期にあたります。上野の東京国立博物館本館(1937竣工)は屋根は和風瓦屋根、その下の本体は洋風新古典主義の和洋折衷建築です。それに対してこの建物は、近代建築様式でグロピウスやル・コルビュジェたちが唱えた国際建築様式(水平屋根、白い壁、横長連窓、柱梁構造)を取り入れ、高い完成度を示しており、昭和初期の建築史を探る上からも貴重な存在となっています。

館長の原俊夫氏は、曾祖父に明治・大正を代表する実業家の原六郎、祖父に前述の原邦造をもつ家系の4代目です。現代美術に高い関心を持ち、海外のアートを愛する人々と交流を重ね、一点一点作品を自ら選択・蒐集し、この美術館を立ち上げました。またパトロンとして若手芸術家への

支援にも熱心に取り組みました。このようにして築かれたコレクションを展示する美術館ですから、展示作品と建物が一体となって、訪れる人を心地よく現代アートの世界に誘います。

特別開催されていた篠山紀信展「快樂の館」一は、氏自身のアイデアとして「ここ(=原美術館)で撮った写真をここに帰す(=展示する)」ということでした。以下、篠山のコメントです。



「美術館は作品の死体置き場、死臭充満する館に日々裸の美女が集う。美女たちの乱舞、徘徊、錯乱、歓喜、狂乱、耽溺……あらゆる快樂がこの館でくりひろげられる。幻蝶が舞う夢と陶酔の館。この祝祭は初秋の夜にはじまり、歳明け、厳冬の朝に散る。たった4ヶ月余の一度だけの狂宴。お見逃し無く。」

2016年篠山紀信

翻訳すると「写真展」といって、《よそ》=展覧会場とは別の場所で撮った写真を展示するのが通例だが、本展は違う。出品作品はすべて《ここ》=原美術館で撮影され、さらにプリントのいくつかは、まさに《撮影したその場所》の壁面に展示する。したがって、写真の中のイメージ=《かつて・ここに・あった》と、展覧会場にいるという現実=《いま・ここに・ある》が交錯し、幻惑的であると同時に、一種《倒錯》のときえ言える鑑賞体験になる。」

我々の集合した前庭の築地塀にすでに《そこ》で撮影された美女が控えめに迎えている。エントランスを入った所、チケットカウンター横の天井の高い控え室の2カットの写真が、展覧会主旨を忠実に表現していた。飛翔する等身大の裸女の横には今チケットをもらったカウンターの女性が写り込んでいる。もう一枚のカットには、美しい砂岩の暖炉に入り込んだ美女の写真と、その横の本物の砂岩暖炉。思わず写真と本物暖炉の岩1枚1枚の模様を確認してしまう。これは楽しい美の探検旅行となる予感を受ける。案の定、階段下の小空間に常設



展示された森村泰昌の作品とのコラボレーション。1階の大広間は壇蜜の空間。薄暗い夕闇の中、ポールデルポーを思わせる構図の中、彼女が原俊夫館長当人を「快樂の館」へ誘う。ふと窓の外を見ると、庭の茂みの向こう、灯籠の横に滲み出てきた妖精のような人影が見えます。さらにその先の裏門にも「快樂の館」の住人の姿が。2階に上がる階段にも《ここ》を意識させる妖精が舞っている。クロゼットを使った点滅する宮島達男の常設展示作品とコラボ。元子供室と思える部屋のピンク一色に塗られた壁には、ピン



アップのようにプリントが張り廻らされ奔放な少女妖精の部屋であることを示唆する。主寝室奥の元バスルームに常設された奈良美智の大きな目の少女とのコラボレーションも楽しい。昨年この企画で訪れた目黒の庭園美術館でも、元朝香の宮邸というお屋敷にスイスの装飾デザイナー、オットー・クンツリのアクセサリが各

室の壁や暖炉や窓台の上にさり気なく配され、とても自然な感じで見て回ることが出来ました。展示されている作品をただ見るのではなく、その中に入り込む体験ができたように思えます。篠山は「作品の死体置き場に幻蝶が舞う夢と陶酔の祝祭、一度だけの狂宴」と言い放った意味が少し理解できました。

幻蝶乱舞の陶酔を堪能し、三々五々集まってきた皆様と集合写真を撮り、伊本会長より締めのご挨拶をいただき、本年の庭園見学会を終了・解散しました。ありがとうございました。



プールの修繕について

副校長 仲道 嘉夫

教育後援会の皆様、いつも本校の教育をサポートして頂き、誠にありがとうございます。

本年は例年と異なり、ある物を”購入する”ということではなく、修理の代金として使わせて頂きました。実は、教育後援会総会の後、プール開き前に、本校のプールを確認したところ、プールに塗ってある、防水塗装が剥げかかっており、ぷっくりと膨らんだり、一部、その膨らんだところが破裂したところがありました。

特に、破裂したところがありますと、そこは鋭利な部分になり、水でふやけた生徒の足などがふれると、切れたりして大変危険な状態でした。本来でしたら大学に予算要求するという所ですが、予算要求の時期ではなく、通ったとしても、工事が夏休み明けになりそうなことから、緊急事態として、教育後援会からの助成金を使わせて頂きました。おかげさまで、無事、

プールの指導ができました。誠にありがとうございます。

このような緊急を要する修繕に関してはなかなか予算を確保することが難しく、このようなことに使用出来る助成金は大変有り難く存じます。今後とも、生徒の環境に注意を払っていく所存ですので、皆様方からのご後援よろしくお願いいたします。



弟燕祭バザー

弟燕祭(文化祭)期間中の10月15日(土)、16日(日)の2日間にわたって、恒例の「教育後援会主催バザー」を開催いたしました。今年度も皆さまからたくさんの品物をご提供いただき、お客さまも大勢お越しくださり、大盛況のうちに終了いたしました。今年度の売上金額は、これまでで最高だった昨年度を更に上回る242,865円でした。

品物を提供してくださった皆さま、当日購入してくださった皆さま、厚く御礼申し上げます。

これまでもバザーの売上金を活用し、除細動機(AED)の設置や、教材用の車椅子、レスキューセットの購入など、生徒の安全や教育活動に役立つ物を寄付させていただいております。今年度の売上金も学校と相談の上、活用させていただきます。



教育後援会だより 第18号 平成29年3月3日発行

東工大附属高校教育後援会 発行人 伊本 淳平

オフィシャルホームページ <http://tokodaihuzoku-koenkai.com>

印刷所 株)あおむし Tel.050-5803-3564